

第3章 経済・産業

第1節 農業

〔現状と課題〕

本市の農業は、冷涼な気候、中山間地の火山性土壌、平坦地の泥炭性土壌など厳しい自然条件のもと、土地基盤整備に努めながら、草地型酪農を主体に肉用牛飼育や野菜生産を中心に発展してきました。

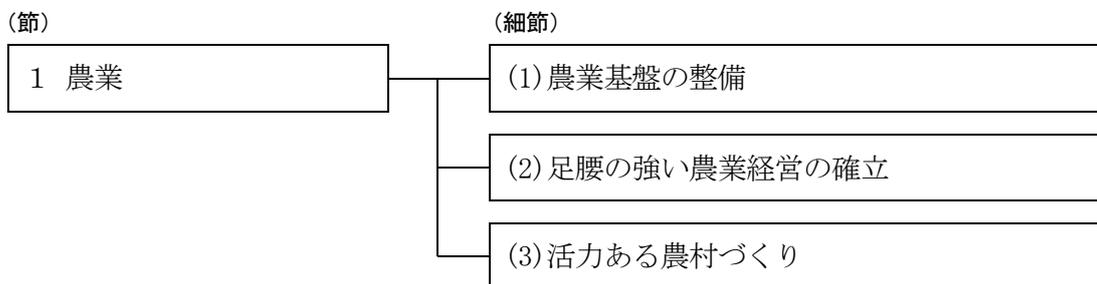
しかし、厳しい労働環境から新規就農者数は伸びず、近年は農業従事者の高齢化が進むとともに、諸外国との貿易交渉による外国産農産物の流入が増える見通しのなか、将来展望の不安感から来る後継者不足もあり、農業の担い手確保は重要な課題となっています。

また、農業者は家族経営体を中心であることから、草地や施設などの農業基盤の更新に対する設備投資も遅れている状況にあります。

国内における食の安全や環境保全への関心は高まりを見せており、消費者の信頼を得るためには、*BSEや鳥インフルエンザの発生、農業排水による環境問題などについて、農業者と行政機関等が連携して対応し、安全な農畜産物の生産と環境にやさしい農業を確立することが重要です。

さらに、心のゆとりや自然とのふれあいを大切にする価値観が広まるなか、農村地域の持つ豊かな自然と土や緑に親しめる空間が見直されています。このため、農村の快適な環境づくりや、都市との交流により農業への理解を広める取り組みが必要となっています。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 農業基盤の整備

本市の酪農・畜産を支える草地や農道、排水路などの農業基盤の整備及び計画的な土地改良を進め、良質な*粗飼料の確保と生産コストの低減のために、大型機械を活用した粗飼料生産の分業化・農作業の組織化を推進します。

(2) 足腰の強い農業経営の確立

農業従事者の高齢化が進むなか、地域農業の振興のためには担い手の確保と育成が重要な課題となっており、関係機関と共にあらゆる機会を捉えて対策を行います。

農作業の省力化や、生産コストの低減、生産物の付加価値向上のために、公共育成牧場をはじめとした、生産者を地域全体で支える営農支援システムの強化を推進するとともに、中山間地農業への支援や環境に配慮した*バイオマスの有効活用等への支援を進め、足腰の強い農業

*BSE…牛海綿状脳症。

*粗飼料…家畜の飼料のうち、乾草やサイレージ、稲わら等を指す。

*バイオマス…エネルギーなどとして利用することができる、家畜ふん尿や食品廃棄物、林地残材などの生物に由来する資源。

経営の確立を目指します。

また、市民の食を支える野菜生産についても、関係機関との連携のもとに推進します。

(3) 活力ある農村づくり

地域に適した食と健康づくりを通じた農村と都市の交流や、農業及び農村の振興のための拠点である農村都市交流センター「山花温泉リフレ」の機能維持を図るとともに、美しい景観づくりや農村地域の環境向上に取り組みます。

〔関連する個別計画〕

- 釧路農業振興地域整備計画 2006(平成18)年度
- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第2節 林業・木材産業

〔現状と課題〕

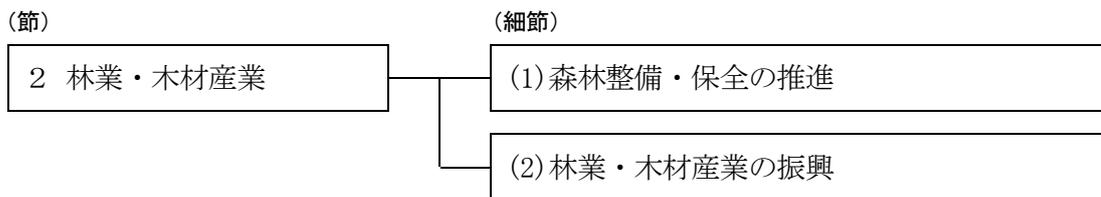
本市は、森林面積が市域の7割以上を占め、国内でも有数の森林都市です。これらの森林は、木材生産による経済的機能に加え、国土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、さらには景観林が観光資源となるなど、多岐にわたる公益的機能を有しており、その機能を将来にわたって持続的に発揮させるため、森林の適正な整備と保全による機能の維持・向上に取り組む必要があります。

しかし、木材価格は需要の減少や輸入材との競合等により長期的に下落傾向にあるなか、経営コストが上昇するなど、採算性は悪化しており、林業経営の厳しさから、森林の適切な管理の停滞を招いています。さらに、厳しい労働環境から林業従事者の担い手の確保が困難となり、高齢化が進行しています。

それらの課題に対応するため、森林施業の集約化や機械化によって森林整備のコストを抑え、担い手を確保・育成するとともに、新たな木材製品の開発によって付加価値を高め需要を創出することで、森林資源の循環利用を図り林業の成長産業化を進めることが重要です。併せて、木や森の大切さや暮らしと木の関わりなど、木に関する理解を深める取り組みを進めることも必要です。

また、エゾシカの生息頭数の増加による農林業への被害が問題となっており、森林資源の保護のためにも、エゾシカによる森林被害の防止が課題となっています。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 森林整備・保全の推進

多面的機能を発揮する森林を守り育てるために、市有林をはじめ市内の森林について除間伐・更新伐・保育による森林整備を計画的に実施するとともに、エゾシカ防護柵の設置などによって農林業被害の防止に努めます。

また、より効率的な森林施業を実現するため、地形特性に合った路網整備や機械化施業を推進し、森林所有者と連携しながら森林整備を進めます。

(2) 林業・木材産業の振興

地域内の森林資源の利活用を促進するため、担い手の確保や、技術研修などによる林業従事者の技術向上を図るとともに、木材生産や木材加工など、川上から川下に至る様々な企業や行政機関との連携を進めます。

また、豊かな森林資源に親しみを持ってもらうために、地域材の利用促進や*木育など、様々な機会を捉えて市民に向けた普及啓発活動を進めます。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市森林整備計画 2017(平成29)年度
- 釧路市鳥獣被害防止計画 2016(平成28)年度
- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

*木育…木材の良さやその利用の意義、森林の大切さなどを学び、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと。

第3節 水産業

〔現状と課題〕

本市の漁業は、好漁場に恵まれ、最盛期には日本一の水揚量を誇るなど、地域経済をけん引してきました。しかし、漁業資源の減少、国際的な規制による漁場の縮小などにより、近年は水揚量が大幅に減少しています。

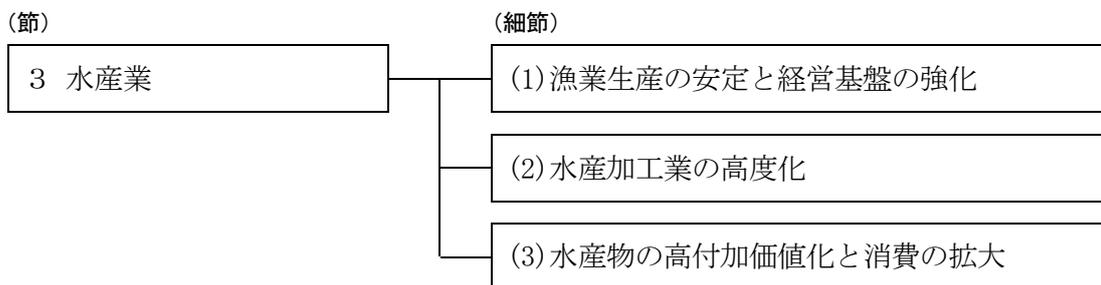
加えて、輸入水産物の増加、漁業就業者の減少や高齢化、食生活の多様化による魚離れなど、漁業を取り巻く環境は総じて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、本市の水産業が持続的に発展していくためには、つくり育てる漁業の推進や、魚価安定対策、操業機会の確保など、地域の漁業特性に応じた各種施策の展開により、安定した漁業生産・流通体制を確立し、経営基盤を強化することが求められています。また、安全で高品質な水産物の生産や流通を実現するために、市設魚揚場の整備を進め、衛生管理体制の向上など施設機能の強化を図ることも重要です。

水産加工業においては、豊富な水産資源や高い技術力のもとに発展し、地域の製造業の中核を担っています。しかし、水揚量の減少や世界的な水産物の需要増加による加工原魚の確保難に加え、安価な輸入水産加工品の増加などの影響を受け、厳しい経営環境に置かれています。

このため、特色ある加工品の開発や、食の安全・安心の確保に取り組む企業を支援するとともに、水産加工品の高付加価値化を促すために商品開発、販路開拓、人材育成などの取り組みを進め、国内外産地に対する競争力の向上を図る必要があります。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 漁業生産の安定と経営基盤の強化

安定した漁業生産体制を確立するため、担い手の育成、確保の対策に取り組むとともに、漁港・漁場の整備や資源管理の高度化、増養殖事業の促進などによる資源の維持・増大に努めます。併せて、安心して漁業に従事できるよう、操業の安全確保を図ります。

また、安全で高品質な水産物の生産や流通を実現するため、市設魚揚場などの整備を図るとともに、水揚量確保のため外来船誘致を促進します。

(2) 水産加工業の高度化

水産加工振興センターが中心となって、地場水産物の高次加工化や、食品の衛生管理の充実などに取り組み、競争力のある加工品開発を支援します。

また、流通基盤施設の整備を促進し、安定した水産物流通体制の確立を図るとともに、環境に配慮した廃棄物処理に努めます。

(3) 水産物の高付加価値化と消費の拡大

生産・加工・販売が一体となった漁業の6次産業化や、水産物の鮮度保持など高付加価値化

への取り組みを支援するとともに、釧路産水産物全体の知名度向上に努め、魚食普及に取り組むなど、消費拡大、販路開拓を促進します。

また、商業捕鯨の再開に向け、鯨類科学調査への協力と鯨食文化の普及啓発を通して、くじらのまちづくりを進めます。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第4節 鉱工業

〔現状と課題〕

本市の工業は、水産加工業、紙・パルプ製造業、医薬品製造業などが中心となり、それらと結びついた関連産業と共に発展してきました。しかし、資源の減少や国内外の経済情勢の変化の影響を受けるなど、特に資源立地型の産業が厳しい状況に置かれています。

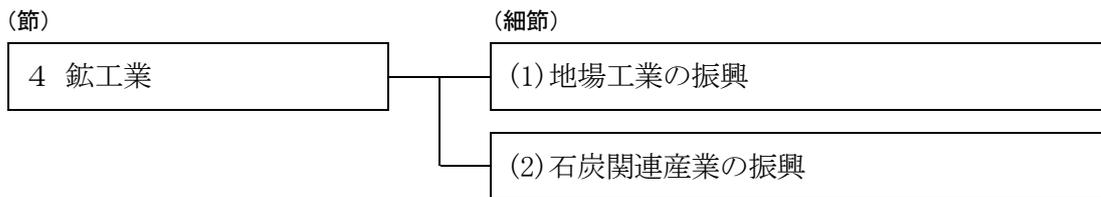
こうしたことから、地域の資源や技術などを生かした新たな取り組みを進め、地元企業の新製品開発、新分野進出、販路開拓などを支援するとともに、産業支援機能を強化し、地場工業の振興を図っていくことが求められています。

また、企業へ良質で低廉豊富な工業用水を安定的に供給するために、施設の維持・整備を図ることも必要です。

石炭鉱業においては、本市では、国内唯一の坑内掘稼行炭鉱が採炭を続けており、高度な採炭技術と保安技術は国際的にも高い水準にあります。この高度な技術は海外の産炭国の高い評価を受けており、エネルギー確保の観点から、国の事業として技術協力が進められていることから、「生きた現場に裏打ちされた炭鉱技術」を生かして、海外産炭国の安全性と生産性の向上に寄与するとともに、事業の継続に向けた取り組みを進める必要があります。

また、地元の石炭を地元で活用する、石炭の地産地消につながる新たな事業展開に対し協力していくことも必要です。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 地場工業の振興

産業技術に関する情報収集・提供、技術相談、技術開発、新規創業、新分野進出などの事業化、国内外への販路開拓など、産業支援の取り組みの充実を図り、地域企業を育成するとともに、釧路工業技術センターにおいては、地域のニーズに対応しながら、地域資源を有効に活用する研究開発や技術開発を行い、その成果を地域企業に還元することで、地場工業の振興を図ります。

また、工業団地等においては、良質な工業用水を安定的に供給するため、工業用水道施設の計画的な整備・更新に努めます。

(2) 石炭関連産業の振興

釧路炭鉱の安全操業、安定経営に向けて、坑内の保安確保、メタンガスの活用などの新事業への支援や、国のエネルギー政策として海外炭の安定確保を目的に行われる海外産炭国への技術協力の継続を図るほか、地元の石炭を活用した火力発電所の建設計画に関連する新たな事業展開に対し協力していきます。

また、産炭地振興のために関係機関と連携した取り組みを進め、地域産業の活性化を図ります。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第5節 観光

〔現状と課題〕

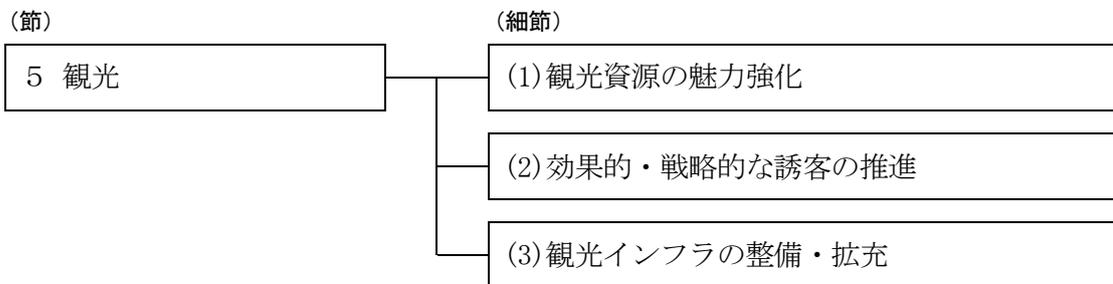
本市は、「阿寒摩周」「釧路湿原」の2つの国立公園やラムサール条約登録湿地をはじめとする豊かな自然、新鮮な水産物や酪農製品などの優れた食材を生かした食の魅力、自然と共生するアイヌ文化など、多くの観光資源に恵まれています。加えて、北海道の温泉地として知名度が高い阿寒湖温泉エリア、広大な森林や牧場など北海道らしい雄大な景色が広がる音別エリア、都市機能とコンベンション施設が充実している釧路市街地エリアなど、自然体験型と都市型観光の要素を兼ね備えています。

また、この豊富な観光資源を生かした各種誘客活動をはじめ、「水のカムイ観光圏」や「ひがし北海道広域観光周遊ルート」「観光立国ショーケース」「国立公園満喫プロジェクト」など、国の施策を生かした取り組みや、高速道路、鉄道、港湾及び空港など広域交通ネットワークの整備、広域連携の取り組みを進めることによって、ひがし北海道の観光拠点として多くの観光客が訪れるまちとなっています。

近年の外国人旅行者の増加に伴い、国内の観光地のみならず、海外の観光地との競争力強化が求められており、国内外の多くの観光客に選ばれ続ける世界一級の観光地づくりを目指すには、地域の自然、歴史、文化、地場産品などを観光資源として、さらに磨き上げるとともに、その魅力を十分に発信し、観光客の誘客と滞在促進を図っていく必要があります。

観光は、宿泊、飲食、交通などの裾野の広い業種から構成され、地域への経済波及効果が大きいことから「地域のリーディング産業」と位置付けたうえで、市民一人ひとりや多様な担い手の観光に対する理解と関与を促し、観光消費の拡大と域内循環の強化などを図ることにより観光産業の育成を進めることが重要です。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 観光資源の魅力強化

自然環境や歴史・文化、地場産品など、ここにしかない観光資源の磨き上げを行うとともに、釧路の魅力を最大限に生かし、観光客の誘客と滞在促進に結び付けます。

また、滞在・周遊型観光の拠点となる総合的な観光地を目指すとともに、ひがし北海道の観光拠点として、広域的な観光エリアとしてのブランド力を高めます。

さらには、「住んでよし、訪れてよし」の実現に向け、市民一人ひとりが主体となったおもてなし精神の醸成や、観光関連事業者との連携の強化により、観光客と市民にとって魅力的な観光まちづくりを進めます。

(2) 効果的・戦略的な誘客の推進

客観的なデータに基づくマーケティング調査や分析を行い、データから導き出される現状と課題を共有しながら、今後の観光施策に反映させるとともに、多様なマーケットに的確に伝わ

る情報発信とプロモーションにより、効果的かつ戦略的な誘客を推進します。

(3) 観光インフラの整備・拡充

国内のみならず、海外からの外国人旅行者が快適かつ安全安心に観光できるよう、まちなかや既存施設、そして玄関口となる陸海空の交通ネットワークを整備し、利便性の向上を図ります。

また、障がい者や外国人など多様な人びとも快適に滞在し、観光できるようにユニバーサルデザイン、ストレスフリー化を進めます。

〔関連する個別計画〕

- 第二期釧路市観光振興ビジョン 2017(平成29)年度
- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第6節 商業・中小企業

〔現状と課題〕

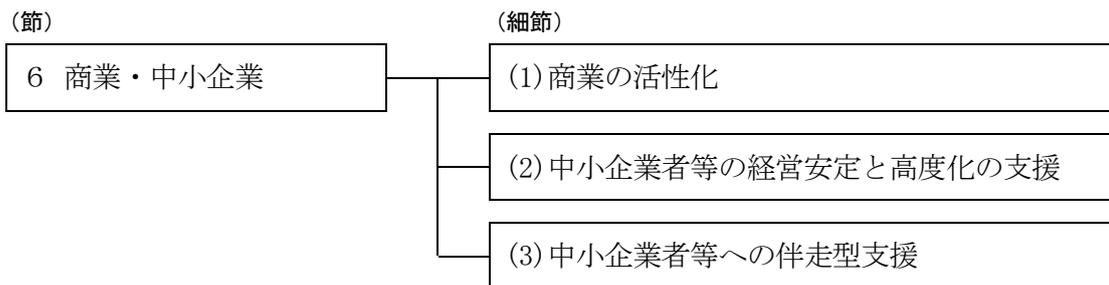
本市は、事業所のほとんどを中小企業が占めるまちであり、中小企業は、雇用の主な受け皿であるばかりでなく、釧路市中小企業基本条例の基本理念である域内循環、*域外貨の獲得、域内連携による地域経済活性化を推進する中核的な役割を担っています。

一方、商業流通を取り巻く情勢は、人口減少に伴う地域の購買力の低下、経済社会環境の変化に伴う消費者ニーズの多様化、生産・流通構造の変化、商品流通の国際化に伴う海外との競争の激化、人手不足や後継者難など様々な要因により、経営を持続することが困難な時代に直面しています。

こうしたことから、中小企業者が地域で経営を持続的にいき、裾野の広い産業構造を形成するために、雇用の確保に向けた取り組みや、新規創業・事業承継・新分野進出などをサポートする体制を整備するとともに、消費者ニーズの多様化や社会情勢の急激な変化に対応できる企業体質への転換を促すことが必要となっています。

また、商業集積地域においては、その集積性が薄れてきており、にぎわいの創出や商業環境の維持が課題となっていることから、身近な生活の場で楽しく安心して買い物ができるよう、中心市街地の活性化とともに、より地域に密着した商業環境づくりが必要になっています。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 商業の活性化

地域の商業機能を維持するため、商店街等に関する基礎的なデータの整備を進めるとともに、消費者の生活様式とニーズの多様化など時代の変化に対応した商業活性化の取り組みや、高齢化への対応など地域に根ざした商業サービスの展開を支援します。

また、商店街等が共同して行うにぎわい創出の取り組みを支援し、人が集まる魅力ある商業環境づくりを進めます。

(2) 中小企業者等の経営安定と高度化の支援

経済・社会環境の変化に柔軟に対応できる中小企業等を育成するため、商工会議所などの経済団体と連携して経営の高度化や効率化を促進するとともに、金融機関等との連携による各種融資・助成制度などの経営安定に向けた支援を進め、中小企業者等の経営基盤の強化を図ります。

(3) 中小企業者等への伴走型支援

地域の「挑戦する企業」を育てるため、経済団体、金融機関、研究機関等の産業支援機関に

*域外貨…域内以外の区域で流通する貨幣。

よる地域が一体となった産業支援体制を確立し、消費者ニーズへの迅速な対応や、マーケティング戦略策定など、事業の持続的な発展に必要な稼ぐ力を高める体制の構築に努めます。

また、創業希望者に対して、ビジネスモデルの構築、資金調達など、創業に必要な要素に応じて、関係機関の強みを生かした適切な創業支援を行います。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市創業支援事業計画 2015(平成27)年度
- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第7節 産業支援・企業誘致

〔現状と課題〕

本市には、農林水産、石炭鉱業、紙・パルプ製造業、医薬品製造業等の全国に誇るべき産業が存在し、地域経済を支えてきました。

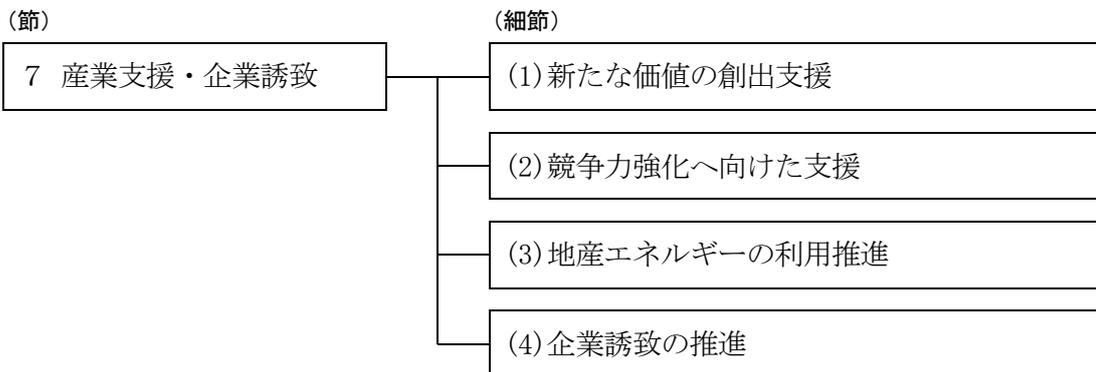
しかし、経済情勢の変化や資源の減少などにより地域経済を取り巻く環境は厳しさを増しており、これまでの良質な素材とその量に依存する産業構造から脱却するために、優位性のある資源、技術、特性などの強みを生かした高付加価値化や、情報発信、効果的なプロモーションなどにより、さらなる取り組みの深化が必要となっています。

また、変化する市場ニーズに柔軟に対応し、地域の産業をさらに発展させるために、企業・産業間の連携や産学官金の連携、地元企業を支援する体制の充実などの域内連携の強化が求められています。

こうしたことから、地域が一体となり、地産地消による地場製品の普及促進や、豊富な地域資源の活用のほか、国内外への販路開拓の取り組みなど、支援の充実を図る必要があります。

企業誘致については、設備投資を伴う企業の立地が難しい状況にあるなか、企業の進出支援や新規の雇用確保に向け、道東自動車道の延伸、港湾機能の充実、良質な工業用水などのインフラを生かし、製造業や流通関連企業などの誘致を進めるほか、*テレワークや*サテライトオフィスなど新たな形態の企業誘致にも取り組む必要があります。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 新たな価値の創出支援

情報通信分野において、企業・産業間の連携による新たなサービスが生まれる可能性を持つ*IoTの導入・活用など、人・モノ・情報など様々な資源や特性を生かしながら域内での連携を強めるために、産学官金の連携、異業種の連携などによる新たな価値の創出を支援します。

(2) 競争力強化へ向けた支援

鮮度保持技術の向上・導入促進など、食分野のみならず様々な分野での地域資源の高付加価値化を図ります。

また、*富貴紙をはじめとした地域資源の有効活用が進められていることから、地元への愛着

*テレワーク…情報通信技術を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

*サテライトオフィス…テレワークの勤務形態の一つで、企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。

*IoT…あらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すこと。

*富貴紙…音別地区の特産品であるフキの皮を原料とした和紙。

心の醸成に努めるとともに、地産地消による地場製品の普及促進、域内循環の拡大、国内外への販路開拓など、競争力の強化を支援します。

(3) 地産エネルギーの利用推進

国のエネルギー基本計画において、安全性・経済性に優れたベースロード電源の燃料として再評価されている石炭の有効活用を支援するほか、地域のエネルギー資源の活用に向けた動きに対して協力していきます。

(4) 企業誘致の推進

冷涼な気候、高速道路や港湾などの物流機能、良質な工業用水など、地域特性を生かした企業誘致を推進するほか、テレワークやサテライトオフィスなど、新たな形態の企業誘致にも取り組み、雇用の拡大を図ります。

また、既に立地している企業への適切なフォローアップを行うことにより、雇用の確保を図ります。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度

第8節 雇用・労働

〔現状と課題〕

本市はこれまで、市民生活の安定を図るため、企業誘致や産業振興による雇用の場の確保に努めるとともに、関係機関と連携した就職支援や職業能力の開発に取り組んできました。

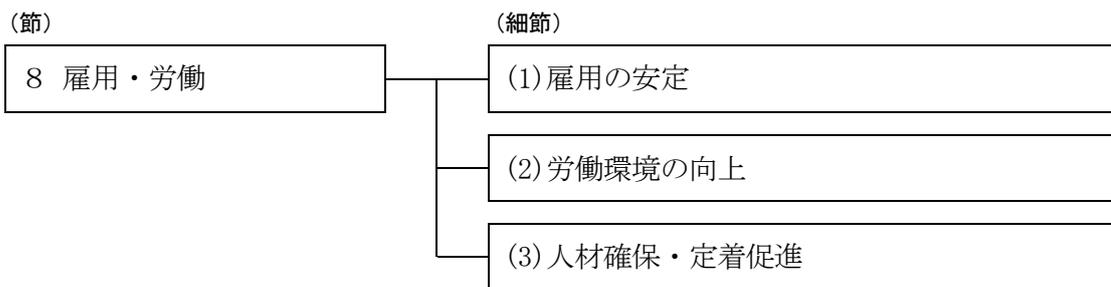
しかし、有効求人倍率が全国平均を下回るなど、雇用情勢は依然として非常に厳しい状況にあります。産業別の求人状況では、医療・福祉など従来からの業種に加え、近年では建設業などの業種においても人手不足の状態にあります。

また、本市の人口は、少子化による自然減に加え、他地域への人口流出などにより生産年齢人口の減少傾向が続いており、生産力を維持するために、若年層の定着率の向上や人材の育成・確保に向けた取り組みが必要です。

一方、就業形態の多様化が進むなか、様々な状況に置かれた若者、育児や介護等を抱えながら継続就業や復職を希望する女性など、多様な働き手が安心して働ける環境づくりが求められています。

さらに、本市は積雪寒冷という気象条件から冬期間の産業活動に制約を受けるため、季節労働者の割合が全国に比べて高く、通年雇用による生活の安定を図ることが求められています。

〔施策の体系〕



〔施策展開〕

(1) 雇用の安定

本市の特性、優位性を生かし、観光産業や食関連産業などの産業振興と一体となった雇用対策の展開により、安定的な雇用の場の確保に取り組めます。

また、若年者をはじめとした求職者に対する就職支援に努め、雇用の安定を図るとともに、季節労働者の冬期間の雇用確保の取り組みにより通年雇用化の促進に努めます。

(2) 労働環境の向上

勤労者が生きがいを持ち、ゆとりある暮らしを実現できるよう、安心して働ける環境づくりと福利厚生の実施を支援します。

また、育児や介護と仕事の両立など、働きたい人が働ける環境を整えるため、多様な働き方に対応した勤務形態の導入など、企業における就業環境の整備の促進に努めます。

(3) 人材確保・定着促進

地域産業を支える技能の継承を促進するとともに、資格取得や知識習得に関わる研修、UIJターンによる道内外からの人材誘致など、時代のニーズに対応した産業人材の育成・確保を推進します。

また、従業員のキャリア形成への支援や、学生・生徒に対する地元産業への理解促進など、次の世代を担う人材の育成・確保を図ります。

〔関連する個別計画〕

- 釧路市地域雇用創造計画 2017(平成29)年度
- 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015(平成27)年度